

# 北海道浮魚ニュース

令和4(2022)年度19号

2022年10月31日

道総研 釧路水産試験場

【URL】 [http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/kushiro/section/zoushoku/ukiuo\\_news.html](http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/kushiro/section/zoushoku/ukiuo_news.html)

## ◎第2回太平洋スルメイカ中短期漁況予報発表される

10月31日、漁業情報サービスセンターより、第2回太平洋スルメイカ中短期漁況予報が発表されたので概要をお知らせします。今回は太平洋海域及び根室海峡・オホーツク海海域を対象とした2022年11月の予報です。

なお、この予報は国及び太平洋側道県の水産研究機関が参画し、漁業情報サービスセンターがとりまとめを行いました。予報文の全文は以下のサイトでご覧になれます。

一般社団法人漁業情報サービスセンター 漁海況部

(<https://www.jafic.or.jp/information/category/news/>)

### 今後の見通し (2022年11月)

対象魚種：スルメイカ

対象海域：太平洋（常磐～三陸海域、津軽海峡～道南太平洋海域、道東太平洋海域）

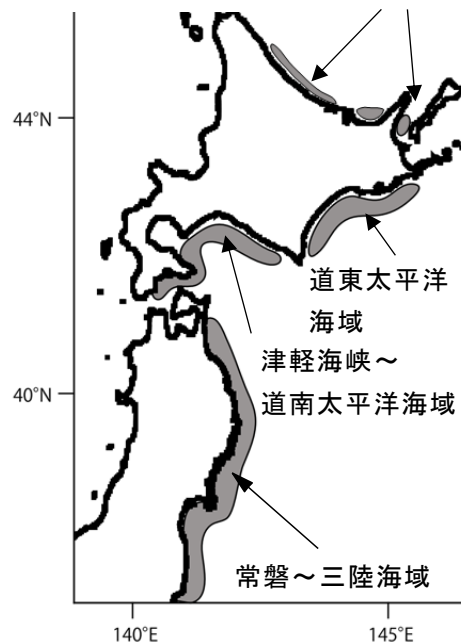
対象漁業：いか釣り、底びき網、定置網、まき網

対象魚群：冬季発生系群（2022年級群）

- ・道東太平洋（いか釣り、底びき網）：来遊量は前年を下回る。明瞭な主漁場がないまま終漁する。
- ・根室海峡～オホーツク海海域（いか釣り、定置網、底びき網）：来遊量は前年を下回る。明瞭な主漁期がないまま終漁する。
- ・津軽海峡～道南太平洋海域（いか釣り、定置網）：来遊量は前年並。対象期間を通じて漁場となる。
- ・常磐～三陸海域（いか釣り、底びき網、定置網、まき網）：来遊量は前年並。対象期間を通じて漁場となる。

※文中の「前年」は2021年のことです。

根室海峡～オホーツク海海域



・漁況は、2022年9月30日に発表された第2回太平洋スルメイカ長期漁況予報（浮魚ニュース第17号参照）、及びその後の主要港の漁況経過、調査結果等から予測されました。

・道東太平洋海域については、8月の調査船調査（釧路水試分は浮魚ニュース第14号参照）で漁獲がみられず10月中旬までの小型いか釣り船の漁獲量及びCPUE（1日1隻あたり漁獲量）も前年を下回ったことから、11月の来遊量は前年を下回ると予想されました。

・根室海峡～オホーツク海海域については、10月上～中旬の小型いか釣り船の漁獲量及びCPUEが前年を下まわり、水温分布も太平洋からオホーツク海への回遊が起きにくい状態にあると考えられるため、11月の来遊量は前年を下回ると予想されました。

・津軽海峡～道南太平洋海域については、8月の調査船調査結果（函館水試分は浮魚ニュース第12号参照）は前年並で小型いか釣り船の漁獲量及びCPUEも前年並から上回る港が多かったため、11月の来遊水準は前年並と予想されました。

（釧路水産試験場調査研究部 TEL：0154-23-6222、FAX：0154-23-6225）